

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年1月19日)

- 1 鳥取県中部地震に係る災害査定の様況等について 【技術企画課】……1ページ
- 2 山陰道「北条道路」の都市計画決定手続きの様況について 【技術企画課】……2ページ
- 3 第8回米子駅南北自由通路等整備事業協議会の概要について
【道路建設課】……4ページ
- 4 浜村川水系河川整備計画(案)の策定について 【河川課】……7ページ
- 5 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課・河川課】……9ページ

県土整備部



鳥取県中部地震に係る災害査定状況等について

平成 29 年 1 月 19 日
技 術 企 画 課

平成 28 年 1 月 12 日 (月) から 27 日 (火) までの期間、公共土木施設等に係る災害査定を実施しましたので、その結果及び工事の発注状況等について報告します。

1 公共土木施設等の災害査定結果

(1) 国土交通省関係 (港湾、公園含む)

査定決定額

	県	59 箇所	913,536 千円
	市町	67 箇所	841,963 千円
合計	全県	126 箇所	1,755,499 千円

査定率 (国土交通省関係)

県	98.6%
市町	96.3%
全県	97.5%

(2) 農林水産省林野庁関係

査定決定額	県	1 箇所	35,607 千円
査定率			96.6%

(3) 災害査定結果一覧

【国土交通省所管】

(単位:千円)

工 種	県					市町村					合 計				
	①申請		②決定		査定率 ②/①	①申請		②決定		査定率 ②/①	①申請		②決定		査定率 ②/①
	箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額		箇所数	金額	箇所数	金額	
河 川	5	107,568	5	106,753	99.2%	2	32,417	2	32,417	100.0%	7	139,985	7	139,170	99.4%
海 岸	1	37,362	1	37,295	99.8%					—	1	37,362	1	37,295	99.8%
砂 防 設 備	1	4,574	1	4,574	100.0%					—	1	4,574	1	4,574	100.0%
道 路	49	754,904	49	743,216	98.5%	44	248,516	44	243,967	98.2%	93	1,003,420	93	987,183	98.4%
橋 梁					—	3	24,935	3	24,935	100.0%	3	24,935	3	24,935	100.0%
下 水 道	1	15,152	1	15,152	100.0%	17	259,261	17	256,756	99.0%	18	274,413	18	271,908	99.1%
港 湾	2	6,546	2	6,546	100.0%					—	2	6,546	2	6,546	100.0%
公 園					—	1	309,441	1	283,888	91.7%	1	309,441	1	283,888	91.7%
合 計	59	926,106	59	913,536	98.6%	67	874,570	67	841,963	96.3%	126	1,800,676	126	1,755,499	97.5%

【農林水産省林野庁所管】

(単位:千円)

工 種	県			市町村			合 計		
	①申請		査定率 ②/①	①申請		査定率 ②/①	①申請		査定率 ②/①
	箇所数	金額		箇所数	金額		箇所数	金額	
治山施設	1	36,879	96.6%			—	1	36,879	96.6%
合 計	1	36,879	96.6%	0	0	—	1	36,879	96.6%

2 災害復旧工事の発注状況 (国土交通省+農林水産省林野庁 県工事関係分)

(1) 1月末までの契約見込み 40.0% (24件/60件)

主な契約見込み箇所 (契約済含む)

- ・ 国道 313 号 (倉吉道路、北条倉吉道路)
- ・ 北条川
- ・ 下水道

(2) 今後の予定

その他工事についても 2 月末までに概ね発注の見込みであり、早期復旧に努める。

3 追加査定の予定 (国土交通省関係)

その後の余震等において被害が確認されたものについて、1 月 30 日 (月) ~ 31 日 (火) に追加して下水道の災害査定を実施し、早期復旧を進める。

山陰道「北条道路」の都市計画決定手続きの状況について

平成29年 1月19日
技術企画課

山陰道「北条道路」(はわいIC~大栄東伯IC間)の都市計画案について、平成28年12月27日(火)に開催された第150回鳥取県都市計画審議会で本審議され、「適当」と答申がありました。
これをもって、法令に基づき、国土交通大臣へ協議を行い、同意を得たうえで、予定どおり今年度内に都市計画決定の告示を行う予定です。
※併せて、北条倉吉道路(倉吉IC~北条JCT(仮称))の都市計画案についても同審議会にて本審議され、「適当」と答申がありましたので、国土交通大臣の同意を得たうえで、決定告示も同時に行う予定です。

1 都市計画審議会 (本審議)

第150回鳥取県都市計画審議会
日 時 平成28年12月27日(火) 14時~16時
場 所 とりぎん文化会館
答 申 都市計画案について適当と認める

2 都市計画案の概要

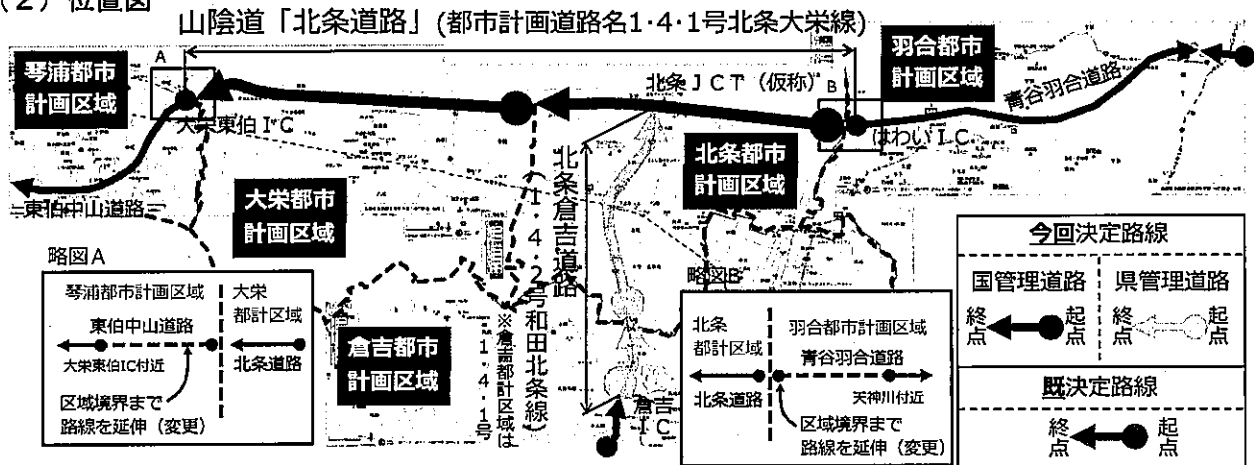
- 山陰道「北条道路」(はわいIC~大栄東伯IC間)(国管理)を新規に都市計画決定
- 北条倉吉道路(倉吉IC~北条JCT(仮称))(県管理)を新規に都市計画決定

※北条道路と接続する既決定の東伯中山道路・青谷羽合道路は都市計画を変更し、都市計画区域境界まで延伸。

(1) 山陰道「北条道路」と北条倉吉道路の計画諸元

路線名	山陰道「北条道路」 はわいIC~大栄東伯IC	北条倉吉道路 倉吉IC~北条JCT(仮称)
延長	13.5km	6.4km
道路規格	第1種第2級(自動車専用道路)	第1種第3級(自動車専用道路)
設計速度	100km/h	80km/h
幅員・車線数	14.0(20.5)m・4車線	14.0(20.5)m・4車線
計画交通量	27,800~30,000台/日	12,600~18,400台/日

(2) 位置図



(3) 標準断面図

《北条JCT(仮称)以東》

《北条JCT(仮称)~大栄IC(仮称)》



(4) 都市計画案の公告縦覧に対する意見及び意見の案への反映

縦覧期間 平成28年11月8日(火)～29日(火) 3週間

縦覧場所 技術企画課、倉吉市役所、湯梨浜町役場、北栄町役場、琴浦町役場

意見書 1通(直接的に都市計画案に係るものはなし)

主な意見	回答(意見の反映)
・道路の維持管理、安全対策について 北条IC、JCTの側道交差点部について、除草を行う等、維持管理や安全対策が後手にならないようにして欲しい。	道路管理者・事業主体となる国土交通省倉吉河川国道事務所より次のとおり伺っている。 1) 交通安全対策については、警察関係機関と協議を行い実施します。 2) 供用後は適切な管理を行います。
・北条オートキャンプ場を含む周辺地域の利便性向上等について ①北条川放水路河口に橋を架けて欲しい。 ②松林の中の道路を整備して欲しい。 ③町道の道路幅員を4m以上に拡幅して欲しい。	ご意見の内容は本都市計画道路の計画とは別に、町がオートキャンプ場を含む周辺地域の今後の利用計画を検討する必要があると考えます。ご意見の内容をまちづくりの主体であり、オートキャンプ場の管理者でもある町に適切にお伝えします。

3 今後の予定

時期	都市計画手続き	国予算スケジュール
H 28 8月10日 8月22日 ~9月27日 10月19日 11月8日 ~29日 12月27日	・都市計画の素案提出 ・国・県・市町による住民説明会 関係機関協議 ・第149回都市計画審議会(予備審議) ・都市計画案の公告・縦覧 ・第150回都市計画審議会(本審議)	予算編成作業(9~12月) 政府予算案の閣議決定(12月22日)
H 29 1~3月	大臣協議・同意 都市計画決定告示-----> (2月下旬見込み)	都道府県知事への意見照会 道路分科会 地方小委員会 道路分科会 事業評価部会(本省) 予算成立(新規事業化箇所の決定) (3月下旬見込み)

第8回米子駅南北自由通路等整備事業協議会の概要について

平成29年1月19日
道路建設課

1月12日に「第8回米子駅南北自由通路等整備事業協議会」（県・米子市・JR米子支社：事務局米子市）を開催し、JRから、新支社ビルの建設位置及び新駅ビルの事業主体等について報告を受けました。併せて、米子商工会議所同席の上、米子駅周辺のにぎわい創出について協議しましたので、その概要を報告します。

1 新支社ビルの建設位置について（資料1）

○JRから、新支社ビルの建設位置について、駅前のグループ会社事務所を取り壊して建設するとの報告があった。（規模は4階建て）

・JRは、山陰の鉄道発祥地としてふさわしい、また、にぎわいの溢れる駅という観点をもって検討。
また、駅舎・自由通路・新支社ビルが一体感のあるようなものにできればよいとの考えも示された。

○県からは、米子の玄関・顔として、非常によい位置に支社を存置していただいたと、感謝の意を表した。

2 新駅ビルの事業主体について（資料1）

○JRから、新駅ビルの事業主体はJRグループ会社とする。規模については決まっていなかったが、行政施設の入居について、引き続き県・市と協議をしていくとの報告があった。

○県としては、行政施設以外の入居についても協議していきたい。

・新駅ビルについては、1・2階にJR(飲食、物販など既存の機能は確保する方針)、3・4階に市、県が入居支援することを想定して三者で、機能・規模・事業主体の検討を進めてきた経緯あり。

【入居候補の検討状況】

・県：県民の利便性等を考慮し、現在米子コンベンションセンターに入居している「消費生活センター」などを入居候補として検討していることを、平成27年9月議会で公表。適正価格が入居条件。

・市：市民が集う機能として検討中。

3 事業スケジュールについて（資料2）

○JRから、新支社ビルを既存事務所を取り壊して建設することとしたこと等により、自由通路・駅南広場の完成が平成34年度末となる。また、新駅ビルの建設時期は、まだ決まっていなかったが平成33～35年度あたりになるとの計画が示された。

○県からは、自由通路の詳細設計に当たっては、単に歩くだけでなく、観光案内や物産を紹介するスペースを設けるなど、面白みのある通路としていただくようお願いした。

4 米子駅周辺のにぎわい創出について

○米子商工会議所から、米子市中心市街地活性化協議会の事業として昨年度から空きビル調査を実施しており、今後は、新たに事業展開をしたい入居希望者とビル所有者とのビジネスマッチングを行い、駅前のにぎわいに貢献していきたいとの考えが示された。

・空きビル調査結果：駅前89店舗のうち、1階は約8割入居済み、2階以上は約6割の入居で空きが多い。

○県からは、南北一体化により駅北と駅南の両方がにぎやかな空間となるため、以下の考えを示した。

①駅南にも玄関ができることや、駅北のだんだん広場の活用も含めて、地元住民の方々と一緒に、にぎわい創出について議論していくことが必要。

②JRから具体的な事業展開が示されたことから、駅南開発の検討をスタートしていくことが必要。

③引き続き民間企業への支援事業（県版経営革新など）や、高速バスレーンの拡幅等により、にぎわい創出を後押ししていく。

○JRからは、駅周辺に他の民間投資を持ち込むような取り組みも必要との意見が出された。

5 パブリックコメント等について

○米子市から、パブリックコメント（第2回）等の結果について報告があり、ご意見については、引き続き三者協議会でも協議・検討を行い、市民に情報提供していくとの考えが示された。

・パブリックコメント(第2回)(H28.8.8～9.30実施):意見提出者64人、308件

・市民説明会(H28.10.9開催):来場者数119人、意見提出者30人、91件

6 今後の予定について

米子市は今年度末までに都市計画決定とJRとの協定締結を予定しており、引き続き、平成29年度の詳細設計に向けて、駅周辺のにぎわい創出の観点から協議会・調整会議(三者課長級)を開催し検討を進める。

<参考> 今年度のスケジュール

・1/11 JRから市に都市計画の同意回答

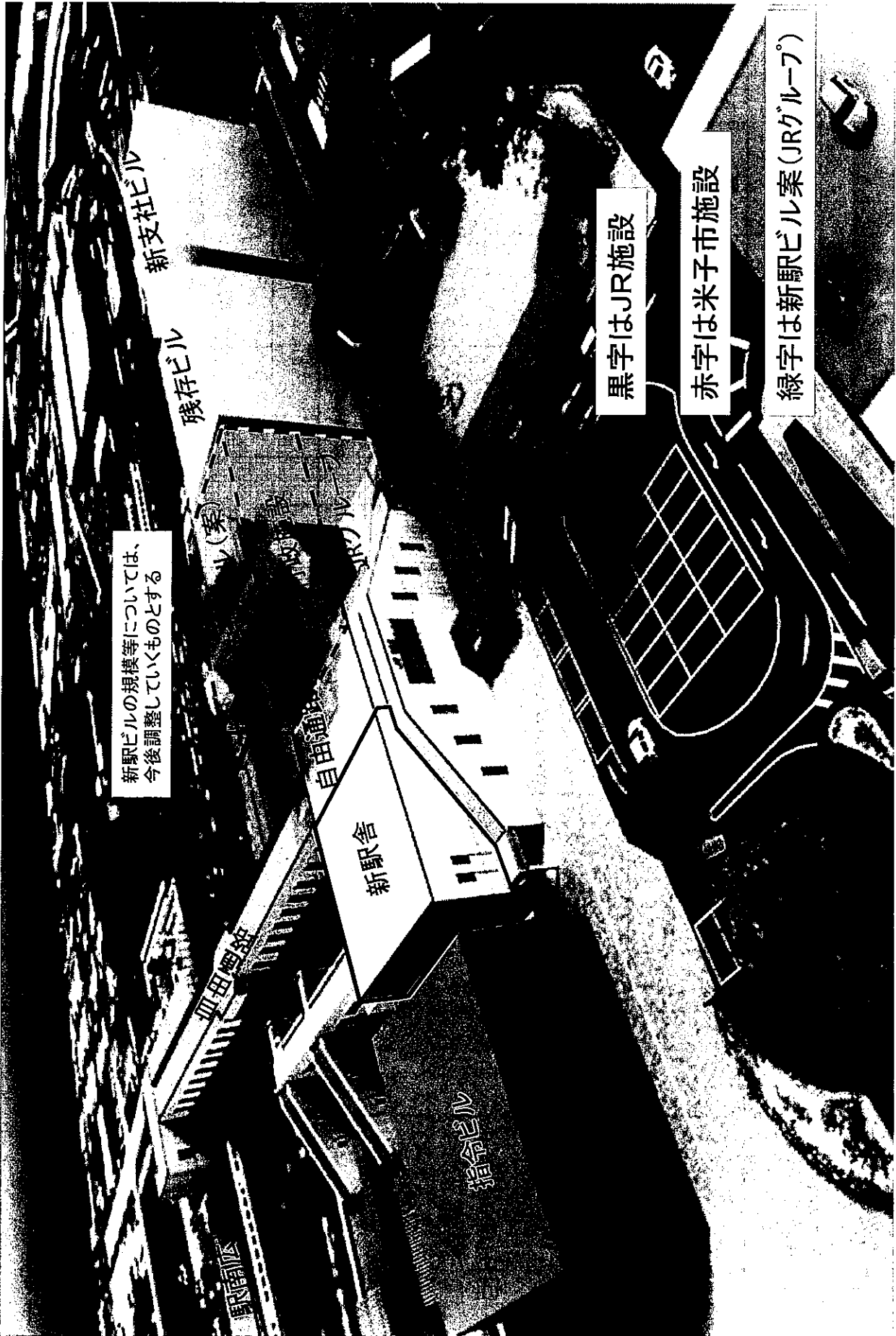
・2月上旬 米子市都市計画決定審議会、県知事協議(市→県)

・2月下旬 都市計画決定、事業認可申請(市→県)

・3月 事業認可(県)、市とJRで協定締結 ⇒ H29年度 詳細設計

米子南北自由通路等整備事業イメージパース図

資料 1



資料 1

<第8回米子駅南北自由通路整備事業協議会資料>

米子南北自由通路等整備事業スケジュール

資料 2

資料 2

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
イベント		▼1/11都市計画同意回答 — 都市計画決定、事業認可、協定締結							
自由通路等整備	詳細設計	支障移転構内改良等	自由通路新設	仮駅新設	支社ビル部分撤去	橋上駅新設	駅南広場整備		
支社ビル移転	詳細設計	支社ビル減築部面震補強、事務所撤去	新支社ビル新設						
新駅ビル						詳細設計・新駅ビル建設 (時期検討)			

凡例

- JR工事
- 自由通路等関連工事
- 米子市工事

スケジュールについては、詳細設計後、時点修正を行う。

浜村川水系河川整備計画（案）の策定について

平成29年1月19日

河 川 課

浜村川水系（浜村川、勝見川、勝谷川ほか）の浸水対策を図るため、浜村川水系河川整備計画（案）を取りまとめたので、その概要を報告します。

1 整備計画（案）の概要

浜村川流域は低平地で河道が狭小なため、昭和54年10月台風20号等により浜村地区や勝見地区を中心に浸水被害が発生しており、河川整備を進めてきたところであるが、近年においても、平成25年台風17号等により勝見地区で市道や農地の浸水がたびたび発生していることから、河川法に基づき河川整備計画を策定して、引き続き河川整備を推進し浸水被害の解消を図るものである。

（1）計画目標

- ・概ね30年に1度の確率で発生が想定される規模の豪雨による浸水被害を防止する。
（最大の浸水が発生した昭和54年10月台風20号による被害も解消できる。）

（2）計画概要

- ・計画期間 概ね30年
- ・整備内容 流下能力向上のための堤防嵩上げ、河道拡幅等
浜村川：堤防嵩上げ 約600m、河道拡幅 約2,100m
勝見川：放水路整備 約450m、河道拡幅 約800m
勝谷川：河道拡幅 約1,400m
- ・全体事業費 約36億円

2 計画策定の経緯

（1）住民説明会

鹿野町勝谷地区公民館（平成28年8月23日）

気高町コミュニティーセンター（平成28年8月24日）

（2）河川委員会

第28回鳥取県河川委員会（平成28年7月1日）

第29回鳥取県河川委員会（平成28年11月21日）

（3）その他

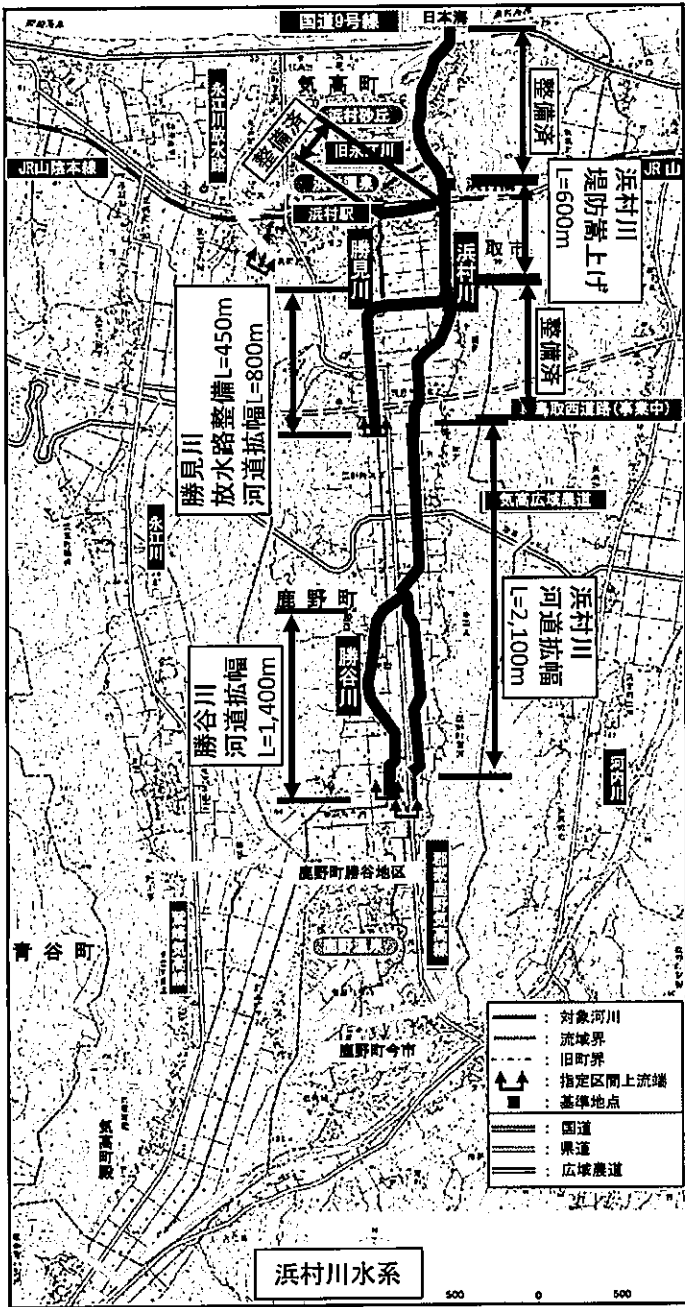
関係機関、鳥取市への意見照会（平成28年11月25～30日）

3 今後の予定

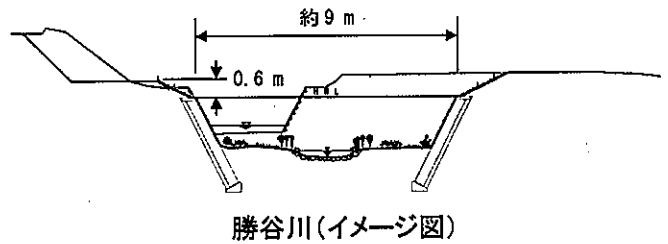
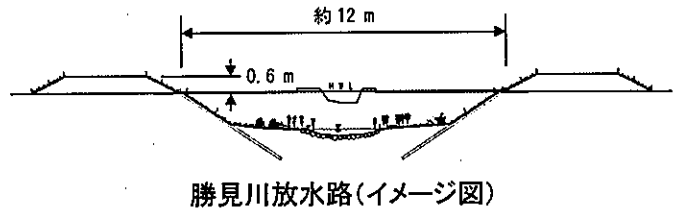
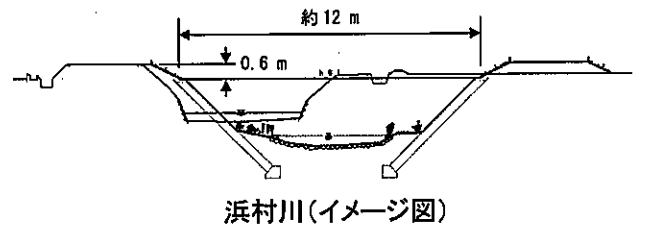
- ・平成29年1月下旬 河川整備計画の決定
- ・平成29年度～ 浜村川等の実施設計に着手（予算要求中）

【浜村川水系河川整備計画(案) 概要図】

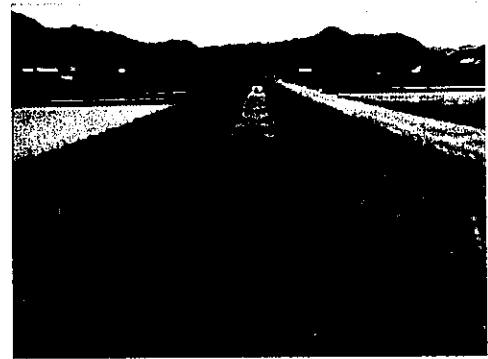
<平面図>



<横断面図>



<未改修状況(浜村川中流域)>



<洪水時の被害状況>



昭和54年10月 台風20号
(勝見橋から南方向)



昭和62年10月 台風19号
(勝見橋から勝見川上流方向)



平成25年9月 台風17号
(勝見地区から勝見川下流方向)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
技術企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	県道泊網見青谷線道路災害復旧 工事(5工区)(27年災第1号)	東伯郡 湯梨浜町 筒地	県道泊網見青谷線道路災害復旧工 事(5工区)(27年災第1号)国土防 災技術・アーステック/特定建設工事 共同企業体 国土防災技術(株)鳥取営業所 所長 小村 徹	(当初契約額) 133,970,000円	平成28年 5月16日 ～ 平成28年12月21日	(当初契約年月日) 平成28年 5月16日	
				(第1回変更後契約額) 136,542,240円 〔 2,622,240円(変更額)〕	(変更後工期) 平成29年 1月20日	(第1回変更契約年月日) 平成28年12月12日	
技術企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	県道泊網見青谷線道路災害復旧 工事(4工区)(27年災第1号)	東伯郡 湯梨浜町 筒地	県道泊網見青谷線道路災害復旧工 事(4工区)(27年災第1号)日特建 設・モ子々特定建設工事共同企業体 日特建設(株)鳥取営業所 所長 山口 浩美	(当初契約額) 182,570,000円	平成28年 5月16日 ～ 平成29年 1月10日	(当初契約年月日) 平成28年 5月16日	
				(第1回変更後契約額) 179,452,800円 〔 △3,067,200円(変更額)〕	(変更後工期) 平成29年 2月 3日	(第2回変更契約年月日) 平成28年12月28日	
河川課 〔鳥取県土整備 事務所〕	塩見川(広域河川)改修工事(1工 区)	鳥取市 福部町 細川	株式会社栗山組 代表取締役社長 栗山 和夫	(当初契約額) 149,904,000円	平成28年 7月11日 ～ 平成29年 2月 6日	(当初契約年月日) 平成28年 7月11日	
				(第1回変更後契約額) 188,250,480円 〔 38,346,480円(変更額)〕	(変更後工期) 平成29年 3月24日	(第1回変更契約年月日) 平成28年12月27日	

